

令和8年2月6日

コミュニティ・スクール便り

板橋区立緑小学校 コミュニティ・スクール委員長 山口 正春

校長

市之瀬 輝明



日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力いただきましてありがとうございます。
2月3日(火)に、第5回コミュニティ・スクール委員会を行いました。今回は学校や地域の様子、活動について話し合いました。本校の教務主任、生活指導主任、研究主任を交え、今年度の成果と課題について報告しました。



【校長より】

「令和8年度 学校運営の基本的な方針」について説明し、コミュニティ・スクール委員の皆様からご承認をいただきました。「令和8年度の主な学校行事等」についても説明しました。

【教務主任より】

学校評価アンケートの結果より

前年と比べ、よくあてはまる・あてはまるの回答が増加した項目は、全10項目中7項目だった(質問項目1、3、4、6、7、8、10)。「9家の人と学校の出来事について話す」以外の質問に関しては、よくあてはまる・あてはまると答えた児童が80%を超えた。(2、5、8に関しては90%を超えている)。5(あいさつ)と8(出前授業)に関しては、本校が力を入れている取組なので、その取組の成果が十分に表れている。この成果は、学校だけでは達成することが難しい。地域の方や保護者の方が取組を理解して、協力をしてくださっているおかげだと感じる。今後も引き続き協力をお願いしたい。

一方、体力テストの結果を見ると、ここ数年全学年低下傾向にある。夏の暑さで外遊びができなかったり、水泳の実施が難しい状況になったりしつつある。また、涼しい季節も外で遊ぶ児童が減っている。学校内外問わず、室内で十分に楽しく遊べる環境になり、外遊びの関心が低くなっているように思う。本校では、体力向上を目指し年間を通して「なわの日」に取り組んだり、秋に「マラソン旬間」に取り組んだりしている。今後も体力向上に向けて、様々な取組を考えているところである。

【生活指導主任より】

本校は、全体的に落ち着いて学校生活が送れている。全校朝会や集会など全校で集まる際も、どの学年もよく話が聞けている。また、地域の方々にも非常によく見ていただいております。1年を通して、放課後の子どもたちの様子を電話でお知らせしていただく地域の方もいらっしゃる。地域全体で子どもたちを見守ってくださっていることをありがたく思う。今年度も引き続き、年間生活目標を「すすんであいさつをしよう」としている。自分からあいさつをする児童が増えてきている。「みどりの子スタンダード」を意識させながら、子どもたちがお互いに気持ちよく生活できる学校づくりを引き続き行っていく。

【研究主任より】

今年度も、生活科、総合的な学習の時間の授業を通して、研究主題を「持続可能な社会の創り手となる児童を目指して ～課題を発見し、解決をめざす学び」として取り組んできた。各学年とも、学習のゴールには SDGsが見えるような単元構成になっている。私たちは、各学年の児童がどのようにしてほしいかという具体的な願いをもって日々実践し、研究授業を3本行った。研究を進めていく中で、緑小学校独自の学びの体系・単元が整いつつある。特徴としては、次の3点が挙げられる。

1 児童が「自分事」として物事が捉え、学級から学校へ、そして地域へ、更には日本や海外へと視野を広げながら学習をすすめ、学習を深められるような学びの場

2 海外の小学生とのオンラインによる国際交流

今年度は6年生が環境教育も絡めた交流を実施した。地域の方々のご協力で進めているビオトープをはじめ、各学年で行っている環境に関する学習もあわせて、今後は環境教育も深めていけると思う。

3 起業家教育

地域の企業の協力のもと、商品を開発・販売という体験をもとにした学習を行った。他にも、ESD カレンダーの作成及び活用、他教科と関連付けた合科的な学習など、年間の見通しをもって指導をしている。

これからも、子どもたちの学びのために取り組んでいきたい。



令和7年度は5回、コミュニティ・スクール委員会を開催しました。熟議を通して様々なお意見をいただくことができました。全教職員参加のコミュニティ・スクール委員会を開催することもでき、貴重な意見交流の場となりました。

コミュニティ・スクール委員会委員の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。いただいた貴重なご意見を今後の教育活動に生かして参ります。